

都民は変化を求めている！しかし...

7月7日の東京都知事選挙は、小池都知事の続投となりました。石丸候補が選挙後のインタビューで語ったように「それが都民の選択です」ということです。

都民ファーストと自公を合わせた基礎票が小池氏に。また、子育て世代は子どもへの給付が打ち切られては困ると小池氏に投票したとも言われています。

しかし、若い年代、特に10代から40代の男性では石丸氏への投票が多かったと報道されています。若者や無党派層（或いは支持政党があっても）は、既存の政党間の年功序列、数の政治、金権政治に嫌気がさして変化を求めていることは明らかです。

毎年恒例 水質調査キットを使って 水辺の水質調査！

7月7日 上谷戸親水公園の水車小屋付近と若葉台公園の水を市民の皆さんと調査しました。前日のまとまった降雨で水量が増え、水質は比較的きれいでした。



※来年はマイクロプラスチックの調査ができないか検討中です。

一方、都議会議員の補欠選挙は9選挙区のうち自民党は5議席から2議席へと減らす結果となりました。

南多摩選挙区では、生活者ネットワークは岩永ひさかさを応援しましたが、残念な結果でした。

しかし、得票の内容を見ると急な選挙であったにもかかわらず、まったく不利な状況の稲城市において、1位との得票差3000票という15,514票を獲得し大変健闘しました。

稲城・生活者ネットワークは、来年7月の都議会議員選挙に向けて、今後も岩永さんの活動に注目し応援していきます。



inagi 子どもの声からはじめよう！プロジェクト

7月23日(火)「子どもの権利ってどんなこと？」

「こども基本法」のもとで自治体が果たすべき役割とは？

野村武司さん講演会

(東京経済大学現代法学部教授/子どもの権利条約総合研究所副代表/
日弁連子どもの権利委員会幹事/中野区子どもオンブズマン)

時間：午後1時30分～3時30分

会場：稲城市中央文化センターホール (無料)

8月17日(土)「届けよう！子ども・若者の声」

ワークショップ開催のための学習会

時間：午後1時30分～3時30分

会場：稲城市中央文化センター講座室 (無料)

ファシリテーター：林大介さん

(浦和大学准教授/子どもの権利条約ネットワーク事務局長/こども家庭庁「多様なこども・若者の意見を聴く在り方及びこどもの意見反映に関する行政職員の理解・実践に向けたガイドライン作成のための調査研究」有識者委員)



♥ 子どもワークショップを開催して下さるグループを募集しています！

5～10人くらいのお子さんのグループでワークショップを開催し、あなたの気持ち・意見を伝えていきませんか？

例えばワークショップのテーマは (これ以外でもOKです)

*居場所について (家や学校以外にどんな居場所が必要？)

*「なんでやねん！すごろく」(なんでやねん！と思うおとなのつくったルール、みんなで考えてみよう)

*「きかせてあなたのきもち」絵本読み聞かせ (ぬり絵と「きかせてあなたのきもち」ワークブックアンケート)

スマホからのお問い合わせ



主催：inagi 子どもの声からはじめよう実行委員会
お問合せ：inagikodomonokoe@gmail.com

後援：稲城市教育委員会/NPO 法人市民活動サポートセンターいなぎ

村上洋子 と おしゃべりタイム

日時：8月3日(土) 10:30～12:00

会場：稲城ネット事務所(稲城駅近く、百村 1608-3 サンコーポ 202)

Google meet 併用 meet.google.com/ajq-zgov-xer

6月議会の報告も致します。どうぞご参加ください。



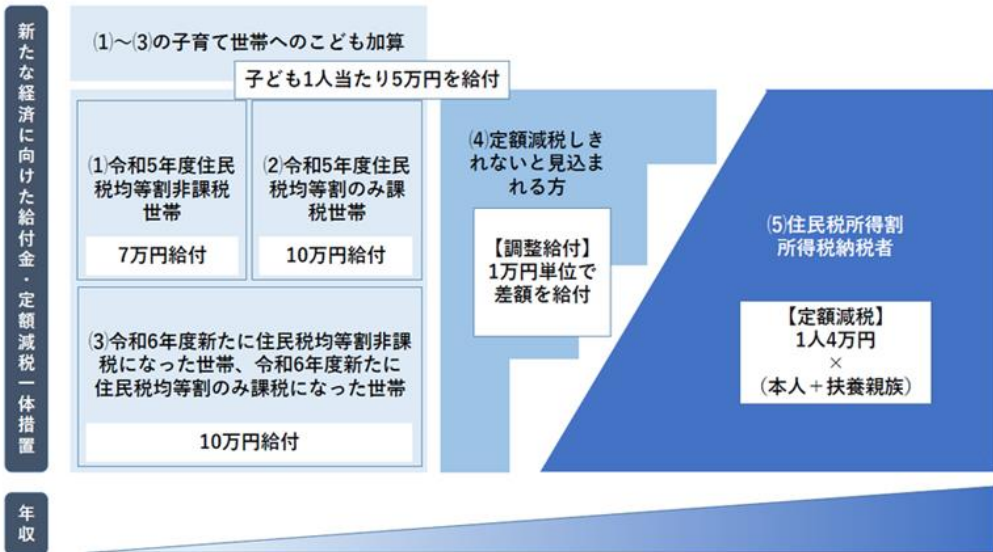
村上洋子 いきいきレポート



新たな経済に向けた 給付金・定額減税一体措置について

令和5年11月2日に閣議決定された「デフレ完全脱却のための総合経済対策」において、給付金の支給や定額減税を行うことが示されましたが、段階的に実施されたためわかりにくいとお声がありました。6月議会の追加補正により全ての給付と減税の措置が決定しました。

(←葛飾区 HP より図表を引用)



- (1)令和5年度住民税均等割非課税世帯への給付金
- (2)令和5年度住民税均等割のみ課税世帯への給付金
- (3)令和6年度新たに住民税均等割非課税になった世帯、令和6年度新たに住民税均等割のみ課税になった世帯への給付金
- (4)定額減税しきれないと見込まれる方への給付金(調整給付)
- (5)定額減税

※不明な点は減税については課税課、給付金については稲城市給付金事務局にお問い合わせください。

6月議会 村上洋子の一般質問

- 多様な性を認め合う施策について
以前より LGBTQ に関する相談が増えている状況を確認、注意深く対応するとの回答を得た。
- (仮称)稲城市こども計画の策定について
子ども・子育て会議の委員に青少年委員と社会福祉協議会職員の2名を増員。アンケートは実施するが、子ども自身からの意見聴取(ワークショップ等)は予定していないとの回答。
- ひとり親家庭・離婚前別居家庭・低所得家庭への教育費の支援について
教育資金(奨学金や貸付金など)の情報についてHPにまとめた情報としてお知らせできるよう準備をしているとの事。「母子及び父子福祉資金」については原則保証人を求めているが、申請者に返済能力があると認められる場合は柔軟な対応が可能であることを丁寧に説明するとの回答を得た。
- オーガニック給食への取り組みについて
市内産・姉妹都市の農産物等の活用については「引き続き、有機・無農薬、減農薬等に関わらず積極的に使用する」との市長答弁を得た。

6月議会村上洋子の一般質問の録画をご覧ください



■補正予算

65歳以上への新型コロナワクチン予防接種/定期接種B類(接種の努力義務なし)への激変緩和措置、65歳以上と特に接種が必要な方に8300円の補助(年1回)

自主防災組織等活性化補助金/稲城市の提案が国に採用され168万5千円の補助、映像資料作成と活性化に活用

エデュケーション・アシスタント/東京都による教員の負担軽減のための補助事業、小学校1~3年を対象に副担任のような補助業務を行う。学校毎に採用。

■タウンビバー

長年にわたり稲城市で活用されてきた、タウンビバー(剪定枝破碎処理車)が老朽化のため買い替えとなります。稲城市では公園や街路樹の剪定枝の処理の他、7割ほどは果樹農家の方が有料で剪定枝を処理、たい肥として活用する循環が出来ています。

■陳情

第3号陳情 市内に幼老複合施設を建設することに関する陳情書(不採択)→幼児と高齢者の交流という点では異議はないが、陳情内容が「保育園と特養の複合施設」と限定されているため不採択としました。

第5号陳情 稲城駅南口バス降車場に屋根を付けてください→陳情提出後に陳情内容のバス停の屋根の設置を含む計画があることが明らかになったため委員会で「趣旨採択」を提案したが不採択となり、本会議においては不採択としました。

戦争と平和の記憶 ⑤

母ヨシの物語の続きです。見習い奉公も終えて3年ほど過ぎた昭和13年(1938年)頃、ヨシの母親の再婚相手の義父は土地を持たない小作農で、行く決心をします。父親は9歳の妹の千代子に託して、父は9歳の妹の千代子に託して、

そのようにして同時期に満州に渡ったのが父の一家と母のヨシの一家でした。満州の山形県の開拓団(六道河開拓団)でヨシは青年団活動に参加しますが、そこに居たのが、青年団をまとめた4歳上の鉄次でした。二人はお互い好意を持つようになり、その後、人を立てて縁組みをしてみました。

「俺たちは恋愛結婚だ」と父は酔っぱらうと言っていたが、それが本当のよう

日本は1930年ごろ、世界恐慌の影響で大変な不景気でした。そのため、資源の豊富な中国東北部を手に入れた。日本軍が柳条湖で南満州鉄道の線路を爆破し(1931年)、それを中国のしわざとして攻撃を仕掛けたのです。そして、映画「ラストエンペラー」で描かれた清朝の皇帝、愛新覚羅溥儀を元首として1932年から1945年まで13年間だけ存在した傀儡国家が満州国なのです。

ヨシの妹の千代子がバケツを持って井戸に水汲みに行くと、水も汲まずに走って帰って来て、顔が真っ赤になって、また須貝さんが居たんだなあと、思っただけだと思っ

そんな大局のことを知らぬ困窮した小作農や農家の次・三男は「五族協和」「王道楽土の建設」といった国の謳い文句で「満蒙開拓団」に吸い寄せられていったのです。

その後の過酷な運命を知らず、幸せな青春時代があったのだと思うと救われる気がします。

(次回に続く)

